

東部地区交通環境改善担当

1 東部地区における交通環境改善

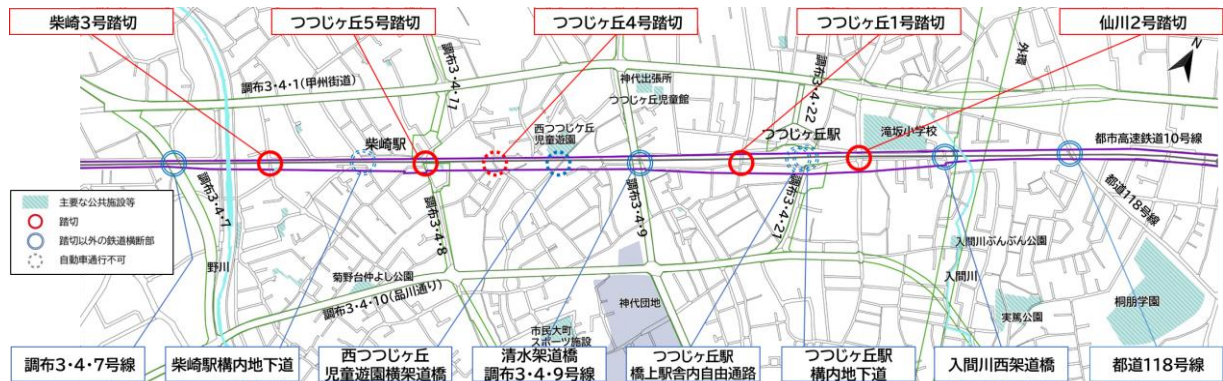
予算科目（款・項・目）40・15・05

〔決算書311ページ〕

東部地区における将来的なまちづくりの展望の下、つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺における抜本的な踏切対策や沿線まちづくりなど、交通環境の改善に向けた取組を推進するもの

令和3年4月に仙川駅から国領駅間の5箇所の踏切が踏切道改良促進法に基づく改良すべき踏切道に指定されたことを踏まえ、令和6年度は、引き続き、連続立体交差事業調査を実施して、交通環境改善に係る取組の検討及び関係機関との協議・調整を進めた。また、令和7年1月には、5箇所の踏切解消の早期実現を目指し、併せて鉄道沿線のまちづくりを目的として、地域住民、市議会、市が一体となった「京王電鉄京王線（つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区）開かずの踏切解消促進協議会」を設立した。

【京王電鉄京王線 つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区 踏切位置図】



踏切道名	道路名	法指定基準			ピーク時の踏切遮断時間 (分/時)
		歩行者ボトルネック	開かずの踏切	地域課題	
仙川2号踏切	市道E202号線		○		52分
つつじヶ丘1号踏切	市道E164号線		○		54分
つつじヶ丘4号踏切	市道E123-3号線		○		44分
つつじヶ丘5号踏切	市道C25号線	○	○	○	47分
柴崎3号踏切	市道E74号線		○		48分